

関数名	説明
Abs Function	絶対値を返す
Array Function	配列として値を持つVariant型を返す
Asc Function	入力された文字のASCII値を返す 類似の関数AscWではUnicode値を返す
Atn Function	ラジアン単位でArctangentの結果を返す
CallersSymbol Function	指定した引数に相当する階層のシンボル名を返す
CBool Function	Boolean型に変換する
CByte Function	Byte型に変換する
CCur Function	Currency型に変換する
CDate Function	Date型に変換する
CDbl Function	Double型に変換する
CDec Function	Demical型に変換する
Choose Function	引数のリストから指定したインデックスの値を返す
Chr Function	ASCII値に対する一文字を返す
CInt Function	Integer型に変換する
Clipboard Instruction/Function	クリップボードにテキストを設定したり、クリップボードのテキストを返す
CLng Function	Long型に変換する
Command Function	指定したマクロの値を返す
Cos Function	ラジアン単位でCosineの結果を返す
CreateObject Function	指定したアプリケーションClass型のオブジェクトを新規作成する
CSng Function	Single型に変換する
CStr Function	String型に変換する
CUInt Function	UInteger型に変換する
CULng Function	Ulong型に変換する
CurDir Function	指定されたドライブのカレントディレクトリを返す
CVar Function	Variant型に変換する
CVErr Function	エラーコードを含むVariant型に変換する
Date Function	今日の日付をDate型として返す
DateAdd Function	任意の日付や時間に特定の間隔を追加した結果を返す
DateDiff Function	指定された2つの日付の間隔を返す
DatePart Function	日付から指定された一部を抽出する
DateSerial Function	指定された3つの値を日付を意味するシリアル値として返す
DateValue Function	日付の日の部分をエンコードし文字列として返す
Day Function	日付の日の部分を抽出する(1-31)
DDEInitiate Function	指定したアプリケーションとDDE会話を開始する ※戻り値は他のDDE関数で使用可能なチャンネル番号
DDERequest Function	DDE会話のチャンネル番を指定して、該当アプリから特定のアイテムに関する情報を取得する
Decode64 Function	Base64デコードアルゴリズムを用いて文字列をByte型の配列で返す
Decrypt64 Function	指定したパスワードによりRC4ストリームアルゴリズムで復号された文字列をByte型の配列で返す
Dialog Instruction/Function	ダイアログ変数で指定したダイアログを表示する
Dir Function	ディレクトリをスキャンし、指定した引数に一致する最初のファイルを探す
DlgControlId Function	フィールドのウィンドウIDを返す ※Dialog関数から直接または間接的に呼び出す
DlgCount Function	ダイアログ内のアイテムの合計を返す ※Dialog関数から直接または間接的に呼び出す
DlgEnable Instruction/Function	ダイアログ内のアイテムを無効/有効にする。有効な場合はTrueを返す ※Dialog関数から直接または間接的に呼び出す
DlgFocus Instruction/Function	ダイアログ内の特定のアイテムをフォーカスする フォーカスされたフィールド名を文字列として返す ※Dialog関数から直接または間接的に呼び出す
DlgListBoxArray Instruction/Function	リスト要素をダイアログアイテムとして設定したり取得したりする ※Dialog関数から直接または間接的に呼び出す
DlgName Function	ダイアログアイテム番号を指定して、そのフィールド名を返す ※Dialog関数から直接または間接的に呼び出す
DlgNumber Function	ダイアログアイテムのフィールド名を指定して、その番号を返す ※Dialog関数から直接または間接的に呼び出す
DlgText Instruction/Function	ダイアログアイテムにテキストを設定したり、ダイアログアイテムのテキストを返す ※Dialog関数から直接または間接的に呼び出す
DlgType Function	ダイアログアイテムの種類をString型で返す ※Dialog関数から直接または間接的に呼び出す
DlgValue Instruction/Function	ダイアログアイテムの数値を設定したり、取得した値を返す ※Dialog関数から直接または間接的に呼び出す
DlgVisible instruction/Function	ダイアログアイテムを表示または非表示にする。表示されている場合はTrueを返す ※Dialog関数から直接または間接的に呼び出す
Encode64 Function	Base64エンコードアルゴリズムを用いて文字列を返す
Encrypt64 Function	RC4ストリームアルゴリズムを用いて文字列を返す
Environ Function	環境変数を返す
EOF Function	指定したStreamNumがEOF(End of File)にある場合はTrueを返す
Error Function	エラーIDまたはエラーコードに対応するエラーメッセージのテキスト表現を返す
Error Instruction/Function	指定したエラーコードに関連しているエラーメッセージを返す
Eval Function	指定した文字列式を評価し、結果の値を返す
Exp Function	指数を返す
FileAttr Function	指定したStreamNumのオープンモードまたはファイルハンドルを返す
FileDateTime Function	引数に指定したファイルが最後に変更された日時をDate型で返す
FileLen Function	指定したファイルのサイズを返す。ファイルが存在しない場合、ランタイムエラーが発生する
Fix Function	Integer型を返す
Format Function	指定した書式でフォーマットされた文字列を返す
FreeFile Function	次の未使用のStreamNumを返す 1から255は各マクロに対してプライベート用、256から511はすべてのマクロで共有されている
GetAllSettings Function	指定したプロジェクト名の全てのSection設定を取得し、Variant型で返す Sectionがない場合はEmptyを返す
GetAttr Function	ファイル名の属性を返す。ファイルが存在しない場合、ランタイムエラーが発生する
GetFilePath Function	ダイアログボックスを表示してユーザーにファイルパスの選択を要求し、 選択されたフルパスとファイル名を返す。[Cancel]が押されると"NULL"を返す
GetLocale Function	カレントスレッドのロケールIDを返す &h400 (ユーザーのデフォルトロケール)、&h800 (システムのデフォルトロケール)
GetObject Function	指定したファイルから既存オブジェクトのClassを取得する Setを利用して返されたオブジェクトをオブジェクト変数に割り当てる
GetSetting Function	指定したプロジェクト名の特定のキーのSection設定を取得する
Hex Function	16進数の文字列を返す

関数名	説明
Hour Function	時刻を返す(0-23)
IIf Function	条件式を評価し、判定結果が真の場合はTruePart、偽の場合はFalsePartで記述した式を返す
Input Function	StreamNumから引数に指定した文字数を返す
InputBox Function	ユーザーがテキスト行を入力できる入力ボックスを表示する [OK]が押されると入力した文字列、[Cancel]が押されると"NULL"を返す
InStr Function	特定の文字列を比較対象の文字列と比較する 最初に一致したインデックスを返し、一致する文字列がない場合は0を返す
InStrRev Function	特定の文字列を比較対象の文字列と比較する 最後に一致したインデックスを返し、一致する文字列がない場合は0を返す
Int Function	Integer型の値を返す。小数点は切り捨て
isArray Function	指定した値が配列の場合、Trueを返す
IsDate Function	指定した値が有効なDate型の場合、Trueを返す
IsEmpty Function	指定した値がEmptyの場合、Trueを返す
IsError Function	指定した値がエラーコードの場合、Trueを返す
IsMissing Function	初期値または値を持たない場合、Trueを返す ※Sub、Function、Propertyを使用する場合、式の指定は省略可能
IsNull Function	指定した値がNULLの場合、Trueを返す
IsNumeric Function	指定した値が数値の場合、Trueを返す
isObject Function	指定した値にオブジェクト参照を含む場合、Trueを返す
Join Function	指定した配列の文字列同士を連結する 指定したデリミターで連結同士を区切る
KeyName Function	キー番号を指定し、紐付いているキー名を返す
LBound Function	指定した配列の中で最も小さいインデックスを返す
LCase Function	指定した文字列をすべて小文字に変換した文字列を返す
Left Function	指定した文字列の左側から指定した文字数までの文字列を返す
Len Function	指定した文字列の長さを返す
Line Input Instruction	指定したStreamNumから一行の入力を受け取って特定の文字列に格納する
Loc Function	指定したStreamNumのファイル位置を返す
LOF Function	指定したStreamNumのファイルの長さを返す(単位はbyte)
Log Function	自然対数を返す
LTrim Function	指定した文字列の先頭にあるスペースを取り除いた文字列を返す
MarcoCheck Function	指定したマクロ/モジュールの構文をチェックする ※マクロ/モジュールは実行しない 構文エラーが検出された場合、Errオブジェクトを返し、それ以外はNothingを返す
MarcoCheckThis Function	指定したマクロ/モジュールコードの構文をチェックする ※マクロ/モジュールは実行しない 構文エラーが検出される場合、Errオブジェクトを返し、そうでない場合、Nothingを返す
MacroDir Function	現在のマクロのディレクトリを返す。マクロが保存されていない場合、実行エラーが発生する
Mid Function/Assignment	指定した文字列の指定した位置から指定文字数分の文字列を返したり、挿入したりする
Minute Function	指定したDate型の値から分(minutes)の値を返す(0-59)
ModuleLoad Function	モジュールを読み込む ※モジュールは実行しない。マクロは読み込めない 成功の場合はオブジェクトを返し、失敗の場合はNothingを返す
ModuleLoadThis Function	モジュールコードをモジュールとして読み込む ※モジュールは実行しない。マクロは読み込まない 成功の場合はオブジェクトを返し、失敗の場合はNothingを返す
Month Function	指定したDate型の値から月(month)の値を返す(1-12)
MonthName Function	指定した月を示す数値の月名称を返す
MsgBox Instruction/Function	指定したタイトルのメッセージボックスを表示する
Now Function	現在の日付と時刻をDate型として返す
Oct Function	8進数のString型を返す
QBColor Function	指定した色番号をQuickBasicによって定義された色コードに変換して返す
Replace Function	指定した文字列を、特定の文字列に置き換えた文字列を返す
RGB Function	指定したRGBカラー値を表す値を返す
Right Function	指定した文字列の右側から指定した文字数までの文字列を返す
Rnd Function	0以上1未満の乱数を返す
Round Function	指定した数値を四捨五入して、指定された桁数の数値を返す
RTrim Function	指定した文字列の末尾にあるスペースを取り除いた文字列を返す
Second Function	指定したDate型の値から秒(second)の値を返す (0-59)
Seek Function	StreamNumの現在の位置を返す ※ランダムモードの場合はレコード番号で最初のレコードが1 その他はバイト位置で最初のバイトは1
Sgn Function	符号を返す
Shell Function	指定したプログラムを実行し、成功の場合はタスクIDを返す ※.COM,.EXE,.BAT,.PIFファイルを実行可能
Sin Function	ラジアン単位でsineの結果を返す
Space Function	指定した文字数分のスペースを返す
Split Function	指定した文字列を、指定した区切り文字で区切り文字列配列として返す
Sqr Function	平方根を返す
Str Function	数値をString型に変換する
StrComp Function	2つの文字列を比較する
StrConv Function	文字列を変換する
String Function	Char型の文字を指定した数だけならべてString型として返す
StrReverse Function	指定した文字を逆の順序で返す
Tan Function	Tangentの結果を返す
Time Function	現在の時刻をDate型として返す
Timer Function	直前の深夜0時からの経過時間を秒数で返す(精度は1/18秒)
TimeSerial Function	Date型を返す
TimeValue Function	日付の時刻部分のみをStrin型として返す
Trim Function	指定した文字列の前後にあるスペースを削除して返す
TypeName Function	指定した変数に格納されている値の型を示す文字列を返す
UBound Function	指定した配列の中で最も大きなインデックスを返す
UCase Function	指定した文字列をすべて大文字に変換した文字列を返す
Val Function	String型を適切な数値型に変換して返す
VarType Function	指定した変数に格納されている値の型を示す数値を返す
Weekday Function	指定したDate型の値に対応する曜日を返す
WeekdayName Function	指定した曜日の名前を返す
Year Function	指定したDate型の値から年(year)の値を返す